

相原市長マニフェスト(24～50) 平成20年度までの実施に対する評価総括表(政策地区別編)

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|---------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|--|--|--|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体の効果や市 民等への影響など | |
| 水沢区 | 保健福祉市 民センター の整備 24 | A | 平成21年度に施設整備を行う予定である。 | いずみ保育園園舎改築、療育教室の設置 (施設整備規模1,300㎡) 391,500(地方債353,500 一般財源38,000) H20 いずみ保育園園舎改築用地取得、造 成、設計 H21 施設整備 | 関係団体との調整に十分時間をかけたことから、予 算は21年度に繰越となりましたが、用地取得、設計等 に着手できる見込みがたちました。 | 市内各区から水沢区への就労が多いため、 区内外を問わず水沢区内の保育所に対する 需要が増えていることに対応するもの。 市内の中心部に子育てに関するさまざまな 機能を合わせ持った施設を設置することによ り、保育に限らず市全体の子育て環境を向上 させることができます。 | |
| 江刺区 | 保育所の改 築 25 | B | 20年度の期限には間に合わないが、平成21年6月に開所できる見込みである。 | 田原保育所(昭和51年建設)の改築(建物 予定延床面積884㎡) 321,437(地方債297,600、一般財源23,837) H19～20 田原保育所の改築 | 建設工事(敷地造成・建築・電気設備・機械設備)を 行い、年度末に園舎が完成。 【期限】...年度末の完成であったため、備品の購入 や旧園舎の解体工事を21年度に行うため。 【予算】...建設用地の変更や建築工事請負業者の倒 産等により事業費が大幅に増大したものの。 【実施】...期限にやや遅れた形となりましたが、6 月から開所できる見込み。 | 建設用地の変更や建築工事請負業者の倒 産等に事業進捗が遅れました。 老朽化した施設を増改築することにより、児 童の安全確保と保育環境の充実を図るとも に、新たな保育需要にも対応することができま した。 | |
| 前沢区 | 幼保一体施 設の整備 26 | C | 平成27年度以降に見送りとなった。 | 平成27年度以降の事業実施に向けて検討 中であります。 未定(27年度以降に変更となったため) 実施予定は平成27年度以降となりますが、 早めに実施計画を策定します。 | ・幼保一体施設はH27以降となったが、別事業である 前沢保育所整備事業(H19～21)を実施し、課題となっ ていた分園の解消を図りました。(H21は冷暖設備工 事のみ) ・これによって、2箇所に配置していた保育士を一箇所 に集約することができ、効率的な保育所運営が可能と なりました。 | 区内の小学校老朽化との関連で統合小学校 建築と幼保一体施設整備の調整を行った結 果、統合小学校建築を優先させることとし、幼 保一体施設整備については27年度以降とす ることとしました。 | |
| 衣川区 | 幼保一体施 設の整備 27 | A | 幼保一体施設は、平成19年6月に開園した。 | 衣川幼稚園・衣川保育所・北股へき地保 育所・南股へき地保育所の統合による幼保一 体化施設の整備。 295,964(地方債247,600、国25,329、一般財 源23,035) H19 幼保一体化施設の施設整備 | 平成19年6月1日から使用開始しました。 | 老朽化した施設を統合改築することにより、 児童の安全確保と保育環境の充実を図ると もに、新たな保育需要に対応しました。 | |
| 水沢区 | 小学校校舎 の改築 28 | A | 平成19年度に事業は完了した。 | 新耐震基準前の建築である水沢小学校北 校舎(3階)の耐震補強工事を実施する。 518,945(国259,064、地方債246,800、一般 財源13,081) H18～19 耐震補強工事、エコ改修設計 | 19年度完了事業 | 耐震基準に即した補強工事を実施すること により、新市の教育施設整備水準の均衡を図 っています。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、×「達成困難」

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|----------------------|-----------------------|--|---|--|---|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体の効果や市 民等への影響など | |
| 江刺区 | 小学校校舎 の改築 | A | 平成23年度までに事業は完了する見込みである。 | 岩谷堂小学校(昭和30年建築、昭和60年大規模改修)の改築 1,343,130(国269,312、地方債1,004,100、一般財源69,718) H20~21 各種調査、設計 H22~23 工事・監理業務 | 用地取得(31,655.34㎡) 登記完了 基本設計終了 用地造成設計終了 | 合併後の市内の教育環境の均衡を図るとともに、地域防災計画に避難所として指定されていることから、災害時の地域住民の安全と生活確保に資する。 | |
| 前沢区 | 世界遺産登録保存の推進 | B | 史跡の整備は進められているが、世界遺産登録は、平成26年度以降に見送りとなった。 | 白鳥館遺跡を世界遺産登録とし保存するため、世界遺産としての白鳥館遺跡内の公有地化を進める。 137,652(国88,522、県19,603、地方債27,700、一般財源2,827) H18 国指定史跡用地補償等 H19史跡用地、遊歩道・トイレ整備等 H20史跡用地、遊歩道整備等 H22~23史跡用地補償等 | H18:史跡用地補償等 26,435 H19:史跡用地、遊歩道・トイレ整備等 36,235 H20:史跡用地、遊歩道整備等 18,756 | 世界遺産登録を目指している、白鳥館遺跡を保存することにより、観光地としての発展にもつなげています。 | |
| 衣川区 | 中学校校舎 の改築 | A | 校舎改築工事は、平成21年度中に行われる見込みである。 | 衣川中学校校舎(昭和39・40年度建設)の老朽化による改築。 710,745(国141,604、地方債540,600、一般財源28,541) H20~21 校舎改築工事 H22 技術棟校舎の改築工事 | H18:耐力度調査 H19:基本設計、敷地調査 H20:実施設計、校舎解体、体育館改築、工事監理 開発行為の許可事務に時間を要したため、体育館の着工が2ヶ月遅れ、H21年度に繰り越しました。 | 老朽化している衣川中学校校舎(昭和39年建設)を整備することにより、若い世代の定住化促進と明るく活気ある、新しい地域づくりに寄与されています。 | |
| 水沢区 | 農業用水再 編対策の推 進 | A | 平成19年度に事業は完了した。 | 負担金 胆沢平野地区 用水排水路整備 10,728(地方債10,187、一般財源541) H18~19 農業用排水施設整備工事 | 19年度完了事業 | 基幹農業用排水施設の整備を継続して行い、農業用水の確保や水利用水の安定化・合理化により、農業経営の安定化が進んでいます。 | |
| 江刺区 | 経営体育成 基盤整備の 推進 | A | これまで5地区で県経営体育成基盤整備事業を行った。 | 県経営体育成基盤整備事業(県営土地改良事業負担金) H18 石関地区(区画50ha) 735 H18 伊手西部地区(区画36ha) 567 H18~21 増沢東部地区(区画42ha) 33,453 H18~21 下門岡地区(区画94ha) 5,547 H18~23 江刺西部地区 128,961 (用水L=55,500m 排水13,195m) H21~26 藤里北部地区(区画58ha) 127,680 H23~27 石山地区(区画28ha) 55,650 H22~27 次丸地区((区画90ha))189,000 計画の見直しにより、当初より事業量が増え、事業費も総額541,593(起債466,930 一般74,663)となりました。 | 県経営体育成基盤整備事業(県営土地改良事業負担金) H18 石関地区 H18 伊手西部地区 H18~20 増沢東部地区 H18~20 下門岡地区 H18~20 江刺西部地区 これまでに、総額122,335千円(起債112,875千円、一般9,460千円)実施。 | 農業基盤整備により農用地の高度利用及び農村集落の生活環境の充実に図られています。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、×「達成困難」

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|----------------------|-----------------------|--|--|--|--|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体的な効果や市 民等への影響など | |
| 前沢区 | 経営体育成 基盤整備の 推進 | A | これまで6地区で県経営体育成基盤整備事業を行った。 | 県経営体育成基盤整備事業(県営土地改良事業負担金) H18 寺領小林地区(区画整理83ha) 1,617 H18~19 姉体地区(区画整理33ha) 1,358 H18~21 徳岡東部地区(区画整理4ha) 2,139 H18~24 二渡地区(区画整理20ha) 27,821 H18~25 白山地区(区画整理272ha) 277,200 H18~26 古城地区(区画整理268ha) 341,692 | 県経営体育成基盤整備事業(県営土地改良事業負担金) H18(完了)寺領小林地区 H18~19(完了)姉体地区 H18~20 徳岡東部地区 H18~20 二渡地区 H18~20 白山地区 H18~20 古城地区 これまでに、総額208,695千円(起債189,411千円、 一般19,284千円)実施 | 大規模ほ場整備事業を行うことにより、担い手への農作業の受委託や農地の流動化を促進し、担い手の育成を図るとともに生産コスト低減等により農業経営の安定化を進めています。 | |
| 胆沢区 | 農業生産総合対策の推進 | B | 事業実施年度が平成22~23年度に変更となった。 | 生産性の高い地域農業構築のための共同利用機械施設の整備及び個性ある産地づくりのためのソフト事業の実施 1,400,000(国1,400,000) H19 集落営農育成、確保緊急整備支援 H22 玄米物流合理化施設整備 H23 カントリーエレベーター整備 | ・集落営農育成支援として、JAが事業実施主体となつて、トラクター、コンバイン等の農機具機械の購入のための支援を行いました(H19 事業費44,916千円)。 ・玄米物流合理化施設整備、カントリーエレベーター整備については、事業実施主体でありますJAの実施年度の見直しがあり、事業実施年度がH22~23年度に変更となっています。 | 玄米物流合理化施設、カントリーエレベーターの整備計画は遅れていますが、高性能農業機械の購入支援を19年度に実施しており、農産物の品質向上と生産性向上のための共同利用機械施設等の整備が進んでいます。 | |
| 衣川区 | 森林公園を活用した交流活動 | A | 平成27年度までの事業なので、まだイベントの開催の段階である。 | 都市住民、企業などの森林ボランティアの受け入れ。会員制または入場料制の体験と癒しの森 そのためのソフトな入山規制、不法投棄監視の仕組みづくり 大学や研究機関との連携による森・川・田んぼの学校 ヒトの交流から農林産物などのモノの交流のための情報システムづくり 24,000(国12,000、県680、地方債9,400、一般財源1,920) H24~25 森林・環境テーマパークづくり H26~27 散策路整備 | 奥州市緑化推進協議会の主催による「森の学校」を1回開催しました。他団体でも随時開催しています。今後の具体的な計画については、G・Tやワーキングホリデー・企業の森林整備活動やESCO事業等の受け皿としての交流から、最終的には農林産物の直送などの、モノの交流にまで発展させるべく、実施計画の見直しを行いました。 | ソフト事業の実施により、森林を通じた交流活動が行われた。 | |
| 水沢区 | 工業鋳物高度化の推進 | A | 岩手大学工学部附属鋳造技術研究センター新技術応用展開部門と連携し、鋳物製品の薄肉・軽量化などの成果を出している。 | 岩手大学工学部附属鋳造技術研究センター新技術応用展開部門(サテライト)の運営支援等。 53,881(一般財源53,881) H18~22 研究センターに対する運営支援 | 岩手大学工学部附属鋳造技術研究センター新技術応用展開部門が3年目を迎え、産学官連携を強固に推進しながら鋳物技術交流センター事業を展開しています。 岩手大学教授等の指導のもと、地元若手技術者が中心となり、同大学の研究シーズ(技術開発・材料開発)を活用した技術・製品の高度化、製品化に取り組んでいます。 また、先進鋳造産地である山形地域鋳物企業及び中国大連市の鋳物企業との交流も実施し、国内外の鋳造業情勢の把握と人脈形成を進めています。 | 市内の鋳物企業と水沢サテライトが中心となり、岩手大学の研究シーズを活用した新技術・新製品の研究開発に取り組んだ結果、市内企業4社がバルブやマンホール、鉄瓶等の鋳物製品の薄肉・軽量化に成功しました。 水沢サテライト客員教授の研究シーズを活用した高機能な自動車用エンジン部品の開発を行う研究が、経済産業省の委託事業に採択されました。 いわて鋳造研究会の活動支援を行った結果、会員企業10社それぞれにおいて、前述した薄肉・軽量化の成功や、工程改善による不良低減・生産性の向上等の成果が見られました。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、×「達成困難」

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|------------------------|-----------------------|---|--|--|--|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体の効果や市 民等への影響など | |
| 江刺区 | 産業支援・ 交流セン ターの整備 | C | もともとの目標が「産業 支援・交流センター整 備事業」という施設整 備であり、ソフト面の成 果はあるものの、ハー ド事業からソフト事業 の政策転換である。 | 既存の建物を活用して産学官による産業支 援・交流事業を推進します。 | 産業支援・交流という観点で、知識集積型都市推進 室において、江刺区を含む市全域を対象とした「奥州 イブニングソロン」を昨年から立ち上げ、産学官が一 同に会し、研究・情報交流活動などを展開しています。 また、20年度は、岩手大学と岩谷堂箆笥生産共同組 合が産学官連携の一環として、岩谷堂たんすの海外 向けデザインの開発を行っています。 | 施設を整備することはできませんが、産業支 援・交流という面において、所期の目的の一部 が果たされています。 また知識集積型都市推進室において、産業 育成支援機関の設置について、21年度に検討 することとしており、産業支援・交流のための、一 層の事業推進が期待されます。 | |
| 水沢区 | 優良建築物 等の整備 | A | 現在は、道路整備や測 量設計を行っている段 階である。 | 地区の環境整備や土地利用の共同化、職 住併用住宅等の整備促進を図る。 160,000(国26,000、地方債118,200、一般財 源15,800) H20～21大町地区道路整備事業 H20:同事業・測量設計 H21:同事業・道路整備事業 H22～25道路整備事業・優良建築物等整備事 業 | H19:道路整備 整備延長 L = 86m H20:測量設計 調査面積 A = 1.5ha 設計延長 L = 188m | 大町地区の商業再生と生活基盤の整備を進 め中心市街地活性化を推進しています。 | |
| 江刺区 | 郷土先人記 念館の整備 | C | ハード事業からソフト事 業に政策転換した。 | 芸術・文化に関する先人を顕彰する施設の 整備 30,000(一般財源30,000) H20～22 郷土先人顕彰事業 | 郷土先人顕彰事業として企画展「奥州藤原文化草 創の藤原清衡と父・経清」を実施。 既存施設の利活用を優先し、先人を顕彰する施設 整備(ハード)から先人の顕彰展示(ソフト)に計画を 変更したものの。 | 20年度の企画展総入館者数は17,250人 (一日平均/72.8人)で、郷土の先人について の理解が深まっています。 | |
| 水沢区 | 街なみ環境 の整備 | A | 平成22年度までに街 並み環境を整備する予 定である。 | 往時を偲ばせる武家屋敷や町割を活用した 歴史的まちなみを再生し、地区住民の生活環 境の向上を図る。街なみ環境整備 225,000(国90,000、地方債117,800一般財 源17,200) H18～22 街路等街なみ環境整備工事 | H19:道路整備 整備延長 L = 68m H20: " " L = 253ha 測量設計 設計延長 L = 670m | 観光客の増加、歴史・文化資源を活かした個 性的な都市空間の形成に寄与しています。 | |
| 江刺区 | 光ネットの 整備 | A | 平成20年度まで光ケー ブル529kmを敷設し た。 | 光ファイバの敷設 1,269,277(地方債1,269,100、一般財源177) H18～21 光ファイバの敷設工事 | 平成20年度まで光ケーブル529kmを敷設 | インターネット接続に加え、テレビ難視聴を解 消するため、テレビ地上波のデジタル化に対 応したケーブルテレビ事業を開始し、住民サー ビスの向上、地域における情報格差の解消を 図っています。 インターネット、CATV合わせて約3,000世帯が 加入しています。 | |
| 前沢区 | JR前沢駅の 整備 | A | 平成18年度に事業は 完了した。 | 鉄道東西交流通路設置(JR前沢駅) 226,484(県12,460、地方債107,000、一般財 源107,024) H18 鉄道東西交流通路設置 | 計画通り事業が完了 | 公園や歩道など周辺の街並みを一体的に整 備し、新市の北の玄関口としてふさわしいイ メージの向上を図りました。また、東口には駐 輪場等を設置し、合併後の新市の住民の便利 性の拡大を図りました。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、×「達成困難」

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|----------------|-----------------------|---|---|---|---|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体的な効果や市 民等への影響など | |
| 胆沢区 | 防災まちづくりの推進 | A | 平成27年度まで事業を進めていく予定となっているが、ポンプ車等の施設整備を行っている。 | 初期消火体制充実のため、ポンプ車等の施設設備の強化・充実 276,642(県8,384、地方債246,250、特定財源7,299、一般財源14,709) H18~27 防火水槽24基、ポンプ車3台、ポンプ積載車8台、屯所1棟を年次的に整備 | ポンプ車2台、防火水槽8基、屯所1棟 ほぼ計画通り事業が進捗しています。 | 地域防災の要となっている消防団の施設・設備を強化・充実し、災害対応力の向上を図っています。 本事業の実施により、消防設備基盤の充実と整備水準の向上を図っています。 | |
| 衣川区 | 橋梁の整備 | A | 平成20年度までに橋量整備を行った。 | 橋りょう改築 L=965m W=6.0(7.0)m 橋長L=42m 片側歩道2.5m 総事業費195,064(国庫97,500、地方債97,500、一般財源64) H18~20 橋梁整備 | L=965m W=6.0(7.0)m 橋長L=42m 片側歩道W=2.5m | 耐荷力・耐震性の劣る橋りょう架け替えることにより、円滑な道路交通の確保、及び地域住民の交通の利便性を図っています。 | |
| 江刺区 | 都市と農村の共生・対流の推進 | A | 農村交流体験施設の整備などを行っている。 | 都市と農村交流の推進 農業・農村の資源活用及び周辺環境整備(研修施設等) 174,672(国31,700、地方債139,500、一般財源3,472) H18 事業計画調査・検討 H19 農村交流体験施設整備 H20 農林水産物直売・食材供給施設整備 H21 産直施設活性化推進 H22 農村交流体験施設整備 | H18 事業計画調査・検討 H19 農村交流体験施設整備 H20 農林水産物直売・食材供給施設整備 | 農村交流体験施設は、整備後、利用者が増えています。農林水産物直売・食材供給施設は、20年度に年次販売目標額を4年ぶりに達成し493百万円の販売実績をあげた。 農林水産物直売・食材供給施設への生産者消費者双方の満足度は高い。 区内に新たな産直施設が開設され、広瀬産直の「奥州みそ」等新たな商品開発もみられる。又、都内中学生の農林業体験学習旅行の受入がみられた。 | |
| 衣川区 | 世界遺産登録保存の推進 | A | 平成25年度までに事業を進めていく予定である。 | 国指定史跡となった史跡整備を図る。史跡散策遊歩道・公園整備 100,297(国58,187、県20,853、地方債19,300、一般財源1,957) H18 案内板の作成・設置 H19 トイレ整備・用地購入等 H22史跡内整備実施設計 H23史跡内整備(芝張り)、用地購入等 | H18 案内板の作成・設置 H19 トイレ整備・用地購入等 | 前沢区の白鳥館遺跡とともに、より一層の旧市町村間の交流や連携が円滑に進むことを目指しながら、観光地として新市の発展を目指しています。 | |
| 水沢区 | 市民活動支援センターの整備 | A | 平成28年度までに事業を進めていく予定である。 | 市民の利便性の高い中心市街地にある既存建物を再利用し、新市の市民活動の拠点となる施設を整備する。 347,945(県186,945、一般財源161,000) H18~27 市民活動団体等に対する支援事業 | 平成18年4月6日にショッピングセンターメイプルをリニューアルし、地下1階には市民活動団体等に対する支援施設として、教養文化施設市民プラザ・マッセを整備完了したものの。 平成18年度より、市民活動支援センター事業を実施し、中間支援NPO法人の管理運営により、市民活動団体等に対する支援事業を展開しました。 | 市民活動を総合的にサポートする中核施設を整備することにより、NPO法人や市民活動団体が共同で利用できる活動スペースや情報の発・受信の場としての活用が期待でき、地域コミュニティの形成や市民活動の連携が図られるなど新市の一体感の醸成に寄与しています。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、×「達成困難」

| 対象 自治区 | 項目 | マニフェスト研究所による評価およびコメント | | 市の実施計画(事業工程) | 平成20年度までの主な実施状況(A) | 実施結果・成果に関する評価(B) | 自己 評価 |
|-----------|-------------------------|-----------------------|-----------------------------------|--|---|---|----------|
| | | 評価 | コメント | 事業概要 総事業費(財源内訳) 単位:千円 主な事業スケジュール(数字は年度) | 平成20年度までに実施した主な内容や結果など | 目標数値に対する達成度 市民等関係者 からの感想意見・評価等 具体の効果や市 民等への影響など | |
| 江刺区 | 地区セン ターの整備 49 | A | 平成21年度までに地区センターと駐車場整備が行われる見込みである。 | H18 玉里地区センターの改築工事 118,236(地方債112,500、一般財源5,736) H19 愛宕地区センター駐車場整備 11,941 (一般財源11,941) H20 米里地区センター増設工事14,230(一般財源14,230) 米里体育センター駐車場整備2,684 (一般財源2,684) H21 伊手地区センターの改築 120,000 (地方債113,800、一般財源6,200) | H18 玉里地区センターの改築工事 118,236 (地方債112,500、一般財源5,736) H19 愛宕地区センター駐車場整備 11,941 (一般財源11,941) H20 米里地区センター増設工事14,230 (一般財源14,230)、米里体育センター駐車場整備2,684 (一般財源2,684) | 地区センター施設の充実が図られ、市民活動等の利便性が向上しました | |
| 胆沢区 | 地区公民館 の整備 50 | A | 平成18年度に地区公民館の整備に要する経費を助成した。 | 地域コミュニティの活性化を図るため、地区公民館の整備に要する経費を助成 10,800(県5,400、一般財源5,400) H18 地区公民館建設費補助 | 地区コミュニティセンター建設費補助 1棟(H18) | 地域づくりの拠点となる地区振興会館の改築整備等を支援し、地区コミュニティの活性化を図りました。 | |

マニフェスト研究所による評価表示 = A:達成できたもの、順調に進んでいるもの B:やや遅れて達成したもの、やや遅れて進んでいるもの C:かなり遅れて進んでいるもの、方針を転換したもの
自己評価の表示 = 「達成、または概ね達成」、「達成に向かって継続進行中(期限到来前)」、「(期限オーバーしたが)目標は達成、または概ね達成」、「(期限オーバーしたが)達成に向かって継続進行中」、「×達成困難」